

おおた高齢者見守りネットワーク 10周年イベント 構成詩劇

「みまもも10年のAYUMI」



脚本・演出 澤登 久雄

『みま〜も物語』の次の10年のページを皆様と開くにあたって

急速に高齢化が進む大都市東京の一角、大田区大森…。この地にある公的な高齢者の総合相談窓口「地域包括支援センター入新井」から、10年に及ぶ大作！『みま〜も物語』は幕を開けました。

「専門」という門の中で、自分たちの専門領域を必要としている人が門を開けて入ってくるのを待っている。そんなことを続けていても、地域にたくさんいる自らSOSの声をあげられない人たちに私たち専門職の手をさしのべることはできない。その思いだけで始めたみま〜も活動も、2年目の秋を迎えようとしています。何もなかったところから活動を始め、今、この活動（みま〜も）を通してここにいるこれだけの人とつながり、共にみま〜もを通してまちづくりに取り組んでいること…。未だに、不思議な、信じられない感覚でいる自分たちがいます。みま〜もは、発足メンバーである15名の手から、今では大田区、いえ、日本全国それぞれの地域を明るく、楽しく照らす人たちの手へと広がっているのです。

- みま〜も活動とともに進めてくれている協賛企業・事業所は60社を超えています。
- みま〜もを、自分自身の生きがい、やりがいとして関わってくれているみま〜もサポーターは100名います。
- みま〜もに関わる専門職たちが、「地域に暮らす人たちの安心」を考え、生み出した『高齢者見守りキーホルダー』は、大田区では65歳以上の1人に1人が登録（登録者1万人）、全国の60を超える自治体で導入されています。

- 「みま〜もシステムをわが町で組みたい」と、のれん分けをした地域は、鹿児島・大阪府岸和田・群馬県太田市・神奈川県大和市・神奈川県横浜市鶴見区末吉地区と、全国に広がっています。

「地域包括ケアシステム」という言葉が叫ばれ、国中で医療・介護の専門職同士の「連携・ネットワーク」を構築する動きが高まっていたとき…。私たちは地域の日常に根ざし、地域に暮らす人たちと、SOSの声を挙げることでできない人たちを早期に私たち専門職につなげていくカタチを選びました。今、この道に迷いはありません。専門職が地域の「日常」に関わることの重要性を10年の道程を経て知ることができたのですから。「これでよかったんだ！」と、今、心からそう思っています。

時代は地域包括ケアシステムから地域共生社会へと向かっている。このシステムの更なる深化は、高齢者のみならず支援を必要とする人すべてが対象。行政機関も「タテワリ」から「まわること」への転換を求められている。時代がみま〜もに追いついてきた。私たちはさらに前へ進みます。今日ここに集った、皆様と一緒に…。

みま〜も次の10年を歩むために、今日一日は、ここにいらっしゃる皆様とみま〜も讃歌を謳い上げたいと思います。

最後に、みま〜もを取り組む中で10年間言い続けてきた言葉をここに記します。

『あなたの力が必要です！わが町の未来のために、これからも力を貸してください！』

BY みま〜も

【登場人物（演者）】

みま〜もくん・・・（大森動画工房 環友加里）おた高齢者見守りネットワーク（愛称…みま〜も）のメインキャラクター。当団体は、平成20年から東京都大田区大森を中心に、医療・保健・福祉分野の専門職、民間企業、行政機関が手をつなぎ、地域の高齢者の安心・健康をテーマに活動する任意団体。

澤登 久雄・・・（薬樹薬局 町田剛）大田区地域包括支援センター入新井センター長（当時）を務める、社会福祉士で、

みま〜も発起人。現在は、牧田総合病院が設置する多世代型の居場所「おおもり語らいの駅」の運営を担う。

中村 一孝・・・（本人）澤登と共にみま〜も発足に尽力した人物。初代代表を務める、独立型の社会福祉士。

片山 敬一・・・（本人）みま〜も初期から協賛企業の一人として関わる、有料老人ホームNRE大森弥生ハイツ施設長。

みま〜もステーションの前身であるみま〜もレストランを作り上げた人。

田口 礼子・・・（本人）みま〜も発足当初から、澤登と共に、大田区地域包括支援センター入新井で働く看護師（当時）。

現在は、「おおもり語らいの駅」の運営を担う。

野口 晃一・・・（本人）カドヤ建設常務取締役。みま〜もステーション活動拠点のアキナイ山王亭がある、柳本通り商店街

理事であり、アキナイ山王亭の設計者。

佐藤理事長・・・（ALSOK あんしんケアサポート 久木田重敏）柳本通り商店街理事長。老舗の和菓子屋を営み、みま〜も

まんじゅうを考案してくれた。

飯田・・・（本人）みま〜もサポーター。みま〜もステーションの活動初期より様々な活動に尽力してくれた方。

小暮・・・（本人）みま〜もサポーター。ここ数年、みま〜もステーションの活動に関わり、今ではサポーターの中心

的存在。

今泉・・・（本人）産休・育休中に、おおもり語らいの駅に訪れるようになった、地域に暮らすママで、仕事復帰後

にはみま〜も協賛企業の一人となる。

みま〜もくん

包括A

包括B

包括C

包括D

包括A

包括B

包括C

包括D

出演者、舞台そとに並び

写真1

「ぼく、『みま〜も』！ここにいるみんなのおかげで10歳になりました！

このまちで働く医療・介護の専門職、地域に暮らす父さん、母さんたちが、僕を必要だと思って生み出してくれたんだ！今日は、僕を育ててくれたみんなの10年の歩みを紹介するよ。今まで関わってくれたみんなが、今日のために練習を重ねてきた構成詩劇『みま〜も10年のAYUMI』どうぞご覧ください！」

おれた高齢者見守りネットワーク（みま〜も）は、丸十年を歩み、今年度11年目を踏み出しました。

10年前、たった一つの地域包括支援センターから始まった「みま〜も」は、

毎日起こる複雑で困難な、高齢者の様々な問題に、右往左往する日々への疑問と限界そして、自分たち専門職が果たすべき役割との矛盾を感じていた、地域包括支援センター職員たちの

さらには関わってくれた、多様な関係者たちの

自分の専門性への誇りと、

意地が生み出したカタチ、

一つの答えだったのかもしれない。

— 暗転 —

動画「無縁社会」

動画終了後、澤登にスポットライト。

「10年間、まるで〃のどの渴き〃でも癒すかの如く、必死になってみま〜もを形作ってきました。

私を感じていた〃のどの渴き〃、それは、地域包括支援センター職員として窓口に来ることができた人への対応で追われる日々、

『忙しい、もう手いっぱい！』

『地域包括支援センター職員としては、十分に役割を果たしている・・・はず！』

『今の体制でこれ以上の仕事などできない！』

そう思っているながらも、『本当にこれでいいのだろうか？』と感じていた空虚感・・・。

それが私を感じていた〃のどの渴き〃だったのかもしれない。

介護が必要になっても、自分では助けを求められない人たち。

自分では「助けて！力を貸して！」と声を上げることのできない人たち。

一人暮らし、認知症高齢者！

そして、近隣や地域との関係を閉ざし、人との関係の絆が、やむなく断ち切れてしまっている人たち。

このような人たちに、手いっばいの毎日の中で、専門職として手を差し伸べることが、できるのだろうか？

専門職を必要としている人たちに、いったい、どうしたら手が届くのだろうか？

澤登 久雄

包括 A

包括 B

包括 C

澤登 久雄

包括 D

包括 A

全員

包括 B

包括 C

包括 D

全員

これが、大田区で働く医療・介護の専門職たちを、みま〜も発足へと突き動かした、原動力！

中村一孝にスポット。

写真2

「人にやさしい仕事をしてみたい、という漠然とした思いで、異業種から何もわからず福祉の世界に入り、同じ法人で働いていた、みま〜もの発起人澤登さんと出会ったのが、もう20年ぐらい前になります。私も澤登さんもその後、転職を経験し、私は偶然に大田区大森で社会福祉士として開業。澤登さんも同じく、大森で地域包括支援センターセンター長を任せられ、再会を果たすことになります。

平成19年の師走間際、＼のどの渇き＼を私に訴える澤登さん。彼の渇きが『地域貢献への枯渇感』であったことはすぐにわかりました。彼の渇きはまた、私の目標に通じることもありました。

この日を境に、私と澤登さんは頻繁に、打ち合わせや、調査を重ね始めたのです。私のモットーの一つは『ないもので必要なものは創る』というのですが、そこに、『良き社会資源であれ！』という、もう一つの目標が、協働作業を続ける中で明確になっていきました。」

写真3

「この日から澤登さん、中村さんたちは、僕を誕生させるために動き出したんだ・・・。」

みま〜もくん

協賛 1

協賛 2

中村 一孝

澤登 久雄

何をするためにもまず必要なものは、お金と協力してくれる人！
そうだ！これから作ろうとしているネットワークの趣旨に賛同する、企業・事業所・施設、病院・クリニックを協賛として募ろう！
まちづくりのために、協賛の仲間たちと、お金を出し合い、人も出してもらう！

写真 4

「中村さんと会った平成19年師走から、『一緒にまちづくりをしたい仲間リスト』を作り、平成20年を迎えた初日から、その仲間たちに新たなネットワークへの協力を求めて一人一人説明に行きました。

デイサービス、ケアマネージャーの事業所、百貨店、専門職としてつながりのあった人、牧田総合病院のつながりを通して知り合った人に協力を求めたんです。協賛が集まる確信など、これっぽっちもありませんでした。きっぱりと断られてしまったこともありましたが、でも、断られても、断られても、ネットワーク構築をあきらめる自分たちは、もうそこにはいませんでした。

専門職としての「のどの渇き」を感じていた頃よりも、『このまちで何かが始まる！』その期待感が私たちをとことん前向きにしていたのかもしれない。」

写真 5

そして、5つの協賛事業所・企業が仲間に加わってくれた！
今日は、新たなネットワークの発足式！

協賛から15名が集まった！

こういう取り組みにはやっぱりキャラクターが必要だよね。

協賛 3

全員

協賛 4

協賛 5

協賛 6

「おおた高齢者見守りネットワーク・・・」

写真 6

協賛 7

「おおちゃん！」

写真 7

協賛 8

「みまりん！」

写真 8

協賛 9

「みまももってどうだろう・・・？」

協賛 10

「いいっ！すごいっ！」

協賛 11

「みまもも！これでいいっ！」

みまももくん

「こうやって今から10年前、僕が誕生したんだよ。みんなが、何も無いところから、これから形作るイメージを関わりのある人たちに伝えて、協力を求めて、手をつなぎやっところまで来たんだ！」

3. みまももの活動

写真 9

記念すべき第1回イベント会場は、地域の老舗「ダイシン百貨店！」

写真 10

買い物客にチラシを渡しながら、イベント会場に来てもらえるよう声をかける！

写真 11

慣れないお誘いにドキドキしました。

写真 12 → 写真 13

協賛 14

協賛 15

協賛 12

協賛 15

協賛 16

協賛 17

全員

協賛 18

協賛 19

協賛 20

協賛 21

全員

協賛 22

協賛 23

全員

澤登 久雄

中村 一孝

100円ショップで買った材料で、実写版みまぐもの完成！専門職の鎧を脱ぎ捨てて、何でもやるうぜ！なんていったって、今日のみまぐもの地域デビューなんだから！

⇒ 14 → ⇒ 15

ダイシン百貨店を会場にしたイベントは大盛況！400名の来場者がありました！
いよいよ、みまぐもとしての定期的な取り組みを開始！
それが「地域づくりセミナー」！

⇒ 16 → ⇒ 17

みまぐもには医療・介護専門職が大勢いる。この特性を生かして何か事業ができないだろうか？

⇒ 18

例えば、自分ではSOSの声を発することできない、認知症高齢者。

この人の、異変に気付くためには、まず、認知症への理解がなければ、気づくことはできない。

そして、異変に早期に気づくことができるのは、私たち地域の専門職ではなく、地域に暮らす身近な人たち同士！

私たち専門職は、隣近所の異変に、気付くための「気づき」は提供できる！

地域の台所であるダイシン百貨店で、毎月第3土曜日、住民の人たち向けのセミナーを開催しよう！

これが、まず、私たち専門職が地域にできる具体的な行動。

「イベントには、大勢集まってくれましたが、定期的なセミナーとなると、常に来場者が集まる、という風にはなかなかありませんでした。」

「30名・・・、20名・・・、天気が悪いときには、みまぐものスタッフの方が、

協賛 24	全員
協賛 25	
協賛 26	
協賛 27	
協賛 28	
協賛 29	
サポーター1	
サポーター2	
サポーター3	
サポーター4	
協賛 30	

参加者より多い、なんて時もありました・・・。」

それでも、私たちは一回一回のセミナーを通して、住民の人たちと出会い、声をかけ、知り合い、

次回のセミナーへの参加を、呼び掛け続けたのです。

ある時、気が付いたことがありました。

抑真 19

セミナーで顔なじみになった、私たち専門職に挨拶してくれる人。

抑真 20

セミナーが終わった後も帰らず、顔見知りの専門職に、身の回りの相談をする参加者。セミナーを続ける中で、地域に暮らす参加者にこんな気持ちが生えてきた。

抑真 21

このセミナーの講師、司会をしてくれている人、

抑真 22

受付で笑顔を振りまいてあいさつをしてくれている人、

抑真 23

道案内の看板を持って声をかけてくれる人、

抑真 24

黄色いベストを着て運営してくれている人たちはみんな地域の専門家！自分に何かあったらこの人たちがいる！

抑真 25

みまも発足当初から10年間続けてきた地域づくりセミナーは、

抑真 26

協賛 31

協賛 32

全員

協賛 33

全員

協賛 34

協賛 35

協賛 36

協賛 37

田口 礼子

今では毎月100名を超える参加者が来てくれる事業になっています。

2年目を迎えた地域づくりセミナーから生まれ、みまもりが地域に暮らす人たちに届けた「安心のカタチ」それが！

抑真 27

高齢者見守りキーホルダー！

平成21年6月、地域づくりセミナーのテーマは

「医療の安心！」

抑真 28

大森の地域にある4つの病院から、医療ソーシャル・ワーカーが、講師として集まってくれました。

抑真 29 → 抑真 30

「外出先で突然倒れて、救急搬送されてきても、身元を証明するものを何も持っていないことが多い。身元を特定するために、荷物をすみずみまで探すことも珍しくないんだ！」

この医療ソーシャル・ワーカーの一言から、キーホルダー事業は始まったのです。セミナーに集まる地域住民に、私たちはこう呼びかけました。

抑真 31

「このような登録システムを私たちは考えています。ただこれは、これから多くの行政機関、消防・警察にも周知していかなくてはなりません。大変な作業かもしれませんが、ここにいる、医療機関、地域で働く専門職たちは、実現させていくつもりです！この仕組みを作ったら、地域で暮らす、ここにいる皆さんの安心につながるでしょうか？」

全員

協賛 38

協賛 39

小暮

協賛 40

協賛 1

協賛 2

協賛 3

協賛 4

写真 32

会場からは、拍手が起こった！

平成21年8月1日、みまぐもとして申請を受け始めたこの事業は、区民の大きな反響を力に、

平成24年4月、大田区の65歳以上を対象とした施策となったのです！

—動画「高齢者見守りキーホルダー」—

写真 33

「このキーホルダーを手にする以前は、持病やケガの影響もあり、転倒するのが怖くて、あまり外出をしないようにしていました。いわゆる、ちよつとした閉じこもりですね（笑）。それが今では、たとえ転んだり、気を失ったりしても、キーホルダーを見つけた方が、地域包括支援センターに通報してくれる。そんな安心感から、いろいろな場所に外出できるようになったのです！本当に、高齢者見守りキーホルダーのおかげです！」

今、大田区に暮らす65歳以上の4人に一人が、みまぐもの専門職たちが生み出した、高齢者見守りキーホルダーを携帯している！

認知症の人が、万が一道に迷った時の安心！

元気な人が、外出先で万が一何かがあった時にも、遠くにいる息子や娘に確実に異変を知らせることができる安心！

そして、元気な頃から、地域包括支援センターと繋がっている安心！

みまぐもを通して、医療・介護の専門職が、地域の日常に根ざしてきたからこそ、

協賛 2

片山 敬一

協賛 6

全員

協賛 7

協賛 8

協賛 9

澤登 久雄

全員

協賛 10

協賛 11

気づくことができた地域に暮らす人たちの安心。

抑真 34

このキーホルダー事業は、みまぐもに関わる私たちが、住民の皆さんに手渡した、安心のカタチなのです！

抑真 35

「セミナーを続けて3年、会場には、毎月100名を超える住民の皆さんが参加してくれるようになりました。」

うれしさ反面、この頃の自分たちは、このように考えていたのです。」

抑真 36

毎月、100名を超える住民の皆さんが一堂に集まるセミナー。でも、主催側がいて、参加者は、お客さんとしてきているだけ……。

この100名の人たちが、

抑真 37

このまちの中で、役割や、やりがい、そして、ちよつとした責任を持ちながら、

抑真 38

地域で活躍してもらえような事業ができないだろうか……？
日々そんなことを考えていた時にキラ星の如く現れた人物！

それが！

大田区大森生まれ、大森育ち！

抑真 39

カドヤ建設 常務取締役 大森柳本通り商店街 理事 野口晃一さん！

野口 晃一

「牧田総合病院さんとの仕事でのお付き合いを通して、病院の方から、澤登さんを紹介されました。初めてお目にかかった時、澤登さんはおもむろに、みまもものパンフレットを取り出し、熱く喋りだしたのです。その話しを聴き、私たちは顔を見合わせました。弊社が漠然とイメージしていた、様々な職種が協力し合って、地域ぐるみで高齢者を支える組織が、既に、ほぼ完璧なカタチで、そこに存在していたのです！」

協賛 12

野口さんは、私たちみまももと商店街をつなげてくれた。

叩賞 40

そして、この商店街の裏にある、ひとけがなく、地域から、存在すら忘れ去られていた公園と、出会ったのです。

協賛 13

4. 新たな活動の場所

協賛 14

商店街の通りから、一つ奥まった場所。

叩賞 41

人目に付かないから、地域のママさんが、子どもたちを安心して送り出せない公園。

叩賞 42

人が来ないから、遊具やフェンスはサビだらけ。

「この人目に付かない、汚く危険な公園を、きれいにして、子どもたちが安心して遊べる公園にしよう！」

協賛 16

「これを誰とするの？」

協賛 17

「それを誰とするの？」

叩賞 43

協賛 18

協賛 19

協賛 20

全員

協賛 21

協賛 22

佐藤理事長

「みま〜もでやろうよ！地域づくりセミナーに参加してくれている、100名を超える住民の人たちに、協力を求めて一緒にやってもらおう！」

写真 44

私たちは、セミナー参加者に呼びかけました！

「公園をきれいにする取り組みに、協力をしてください！」

みま〜もサポーターの誕生です！

「みま〜もサポーターとは、

みま〜もの活動に、参加してくださる応援団です！地域のため、人のため、仲間のため、誰かのために、あなたもできることがあります！みんなで楽しく、活動しましょう！」

写真 45 → 写真 46 → 写真 47 → 写真 48 → 写真 49 → 写真 50

「この商店街の理事長である私は、野口さんに、みま〜もさんを紹介されました。最初はね、まちづくり？専門家のおまえらに何ができる！やれるなら、やってみる！と思っていましたよ。どんなことから始めるのか？興味本位で、柱の影から見ていると、高齢者の人たちと、裏の公園の雑草を摘み、錆びた線路のフェンスに色を塗りだしたんですよ。毎日、毎日……。この公園はね、私が子どもの頃は、毎日友だちと遊んだ場所だね、その公園に、だんだん子どもが来なくなり、ペンペン草が生え放題。そのペンペン草を、時間がある時にむしりながら、涙が出たこともあったんです。この公園の草むしりを黙々と始めたみま〜もさんたち。これがみま〜もさんが言う、『まちづくり』なんだな、って心底感じたもんです。」

写真 51 → 写真 52 → 写真 53 → 写真 54

「みま〜もの副代表だった私は、この公園をきれいにする活動を初めてからというも

片山 敬一

協賛 23

協賛 24

協賛 25

協賛 26

協賛 27

片山 敬一

澤登 久雄

全員

の、毎日、自分の施設へ向かう前に、地域包括支援センター入新井に立ち寄り、スーツから持参のTシャツ、ジーパンに着替えて、サポーターの皆さんと、草をむしり、遊具のさびを落とし、土を耕しました。公園をきれいにするために、一緒に汗流してくれている、みまももサポーターの皆さんが、辛いだけで終わらないよう盛り上げるのが僕の役割！そう思いながら、毎日、公園へ足を運び続けました。先への不安？もちろんありません。でも、この公園を、子どもたちでいっぱいにと、一緒に汗をかくてくれている、サポーターの人たちを見ていて、後戻りはできない！その一念だったんです。」

この時期、国は地域包括ケアシステム構築に大きく舵を切っていました。これを受けて、医療・介護専門職の間では、

「医療と介護専門職の顔の、見える連携関係を構築しよう！」

「専門職同士のつながりを築こう！」と、

専門職同士の関係づくりが花盛り！

空前の連携・ネットワークブームが訪れていた！

印象 55

「そんな時代に、私たちは、地域に暮らすみまももサポーターの皆さんと、公園整備に汗を流していたのです。」

印象 56

「焦りがなかったかと言えば、嘘になります。でも、私たちには、みまももを取り組んでいる専門職としての目的がある。」

「自分ではSOSの声を発することのできない人たちに、自分たち専門職の手をさしのげるまで！」

協賛 28

協賛 29

協賛 30

協賛 31

協賛 32

協賛 33

協賛 34

全員

協賛 35

サポーター 6

サポーター 7

全員

そのためには、専門職とのつながりももちろん大事だけれど、それ以上に、

抑真 57

地域に暮らす人たちと日常的につながり合うことが大事！

自分ではSOSの声をあげることのできない人たちの異変に早期に気づき、手をさしのべることができるのは、私たち専門職ではなく、

抑真 58

同じ地域で暮らす皆さん！

皆さんの気づきを、早期に私たち専門職につないでもらう。

抑真 59

このために、私たちは地域に暮らす皆さんの日常に、

抑真 60

根ざすことを選んだのです！

抑真 61

「商店街の理事長さんが、公園横にある名店街会館を使わせてくれるって！」

抑真 62

「私たちが、毎日公園にいるからかしら？子どもを連れてママさんたちが、あの公園に来てくれるようになったわよ！」

抑真 63

「公園に、人がたくさん来るようになった実績が認められて、大田区が公園を全面改修してくれるって！」

抑真 64 → **抑真 65**

「やったあ~~~~~!!」

協賛 36

協賛 37

協賛 38

サポーター 8

協賛 39

全員

協賛 40

野口 晃一

「みま〜もさん、公園を全面改修をするにあたって、何か要望はありますか？」

「ありますっ！」

写真 66

「公園にリハビリができる遊具が欲しい！」

写真 67

「子どもたちと花や野菜を育てることのできる畑が欲しいです！」

写真 68

こうして、子どもからお年寄りまで、みんなが出会い、繋がることのできる、公園が誕生したのです！

(拍手)

写真 69

さらにっ！

「商店街組合で、空き店舗だった履物屋さんを改修して、みんなが使えるコミュニティ・スペースを作ってくれるって！これで思いっきりいろんなことがやれるね！」

写真 70 → 写真 71 → 写真 72 → 写真 73 → 写真 74 → 写真 75 →

写真 76 → 写真 77

「みま〜ものセミナーや会議、懇親会にお付き合いするようになり、みま〜もには何でこんなにパワーがあるんだろう、と思うようになりました。次から次へと、課題を、一見簡単そうに、かみ砕くような言い回しで話してくるのが澤登さん。よくよく考えてみると、その課題が結構難しかったりするんです。その課題が、何とか目途が

立つと、同じような調子でまた次の課題が出てくるといった感じでした。しかしこれまた不思議なもので、振り返ってみると、僅かながら確実に前に進んでいる。そして、理想の結果に近づいていく……。この公園で、たくさんの子どもたちが遊んでいた時代を私は知っています。多摩川に鮎が戻ってきたように、この公園を、行政をも巻き込み、再び輝く公園に変えたみまもさん。この行動に私は感激したことを覚えています。」

御真 78

カドヤ建設常務取締役 野口さんが設計から施工まで手掛けた「アキナイ山王亭」！みまもさんの新たな拠点がここに誕生したのです！

みまもも協賛企業・事業所が自社の得意分野を生かして、

御真 79

みまももサポーターの皆さんが趣味や習い事を生かして、

御真 80

積み上げてきた講座は年間430講座！

「うちは葬儀屋だから、『知っているようで知らない葬祭のあれこれ』について、話しができますよ！」

御真 81

「僕たちは理学療法士・作業療法士！地域の人たちの健康を支えるため、公園での体操を引き受けます！」

御真 82

拠点ができたことにより、協賛企業・事業所の得意分野を生かした活躍が増えた！
そして、

協賛 8
全員

協賛 7

協賛 6
協賛 5

協賛 4

協賛 3
協賛 2
協賛 1

協賛 9

小暮

全員

協賛 10

協賛 11

協賛 12

全員

サポーター 9

サポーター 10

この頃からみまももサポーターのこんな発言が増えてきたのです。

写真 83

「みまもも活動は楽しい！でも、自分だけこんなにいい思いをしていいのかしら？自分も何か、誰かのためにできることってないのかなあ〜、最近思うのよねえ〜」

写真 84 → **写真 85** → **写真 86**

協賛企業が、医療・介護専門職たちが、住民が、

写真 87

自分自身がみまももを通して楽しさ、豊かさを実感し、

写真 88

わが町のために、わが町で暮らすすべての人たちに向けて

写真 89

自分自身ができることを考え、

写真 90

動き出した！

—大田ケーブルテレビ動画—

写真 91

いつでも行ける場所、

写真 92

やりたいことが見つかる場所、

写真 93

サポーター1

協賛 13

協賛 14

全員

協賛 15

協賛 16

男性全員

女性全員

男性全員

女性全員

全員

協賛 17

そこには仲間がいて、楽しくて、

写真 94

役割があり、私を必要としてくれている！

写真 95

そんな場を町中(まちじゅう)に！

写真 96

それが私たちのやりたいこと！

写真 97

そうっ！これが、みまもが目指していること！したかったこと！

それが今、

写真 98

このまちの人たちの心に芽生え始めた！

写真 99

みまも10年の歩みは、

写真 100

地域で暮らす、

写真 101

地域で働く私たち一人ひとりの

写真 102 → 写真 103 → 写真 104

共感をつなぎ、主体を広げてきた歴史！みまもを取り組んで10年、私たちは未来へ、次の世代へ、この取り組みを進めていく！

そのために、10年を迎えてスタートした事業。それが、

写真 105

全世代対象・対応型の居場所 おおもり語らいの駅！

写真 106 → 写真 107 → 写真 108 → 写真 109 → 写真 110 → 写真 111 → 写真 112 → 写真 113 → 写真 114 → 写真 115 → 写真 116 → 写真 117 → 写真 118

「私たちは結婚をきっかけにこの大森にやってきました。みま〜も？そんな取り組みがあるなんて、もちろん知りませんでした。出産のため産休に入り、子どもが生まれて、昼間は一人で育児に没頭していました。気分転換に、子どもを連れて町を歩いていたら、この看板が目に入ったんです。これが私とおおもり語らいの駅の出会いです。ふらつと中に入ると、看護師の田口さんが笑顔で出迎えてくれて、みま〜もの母さんたちが、歩のことを『かわいい！かわいい！』って言ってくれて、なんか、鹿児島の実家に戻ってきたような錯覚に陥るくらい、自然と皆さんの中に入ることができました。大都市東京で、子どもから母さんたちまで、幅広い世代が集まって、一緒に笑い合って、他人の子の成長と一緒に喜び合って、その大きな輪の中にいる自分が、なぜか嬉しくて、誇らしくて、歩も、この多世代の大きな輪の中で、きつと、きつと、素敵な人間になってくれると思っています！歩はもうすっかり語らいっ子です！7月から私は仕事復帰をして、歩は保育園に入園。もちろん、これからも、おおもり語らいの駅に、関わらせてもらいます！そして、私自身が皆さんにしてもらったように、私ができることを探していきます！仕事復帰をして、まず、したこと、それは、大森にある私の会社を、みま〜もの協賛企業にしちゃったことです！これからは、おおもり語らいの駅だけでなく、みま〜もの協賛企業としてもがんばっていきます！」

写真 119 → 写真 120 → 写真 121 → 写真 122 → 写真 123 → 写真 124 →

写真 125

飯田

「私のせがれ、娘たちは私の誇りだよ。皆さんも、褒めてあげてください！10年、何もないところから、よくまあここまで・・・辛いことや、唇をかみしめて、踏ん張らなきゃいけないこともあったでしょう・・・でもこの子らはね、私たちに、この10年、そんな辛い顔を一度だって見せたことはないよ。いつも私たちを、このまを、笑顔で照らし続けてきてくれた。そんなせがれたちのために、私たちは何かをしなきゃって、心から思ってる！もう80歳間近だけどね、私たちも、もうひと花咲かせなきゃって、この子らの頑張りを見ていて、そう思うのよ。せがれ、娘！母ちゃんたちががんばるからね！」

5. メッセージ

協賛 19

協賛 20

協賛 21

協賛 22

協賛 23

協賛 24

地域に暮らす、すべての人たちを見守り・支え合うネットワークの構築を、
私たちはこう考えています！

写真 126

最近、「プライバシーの侵害」とか、「個人情報の保護」という言葉がよく言われる！

写真 127

自分のことは自分が一番よくわかっている。「放っておいてくれ！」と言う気持ちは誰にでもある！

写真 128

でも、今のせちがらい社会の中で！

写真 129

弱い地位、弱い立場、不自由な状態、

協賛 25

協賛 26

協賛 27

協賛 28

協賛 29

協賛 30

協賛 31

協賛 32

サポーター 2

サポーター 3

写真 130

どうにも抜けられない、つらい状態に押し込められ、動けないでいる人たちは、

写真 131

誰かが積極的に手をさしのべなければ、

写真 132

そこから抜け出して、ちがう景色を見ることはできない！

写真 133

そのような人たちが、誰かの手をかりて、違う景色を見ることができるようになれば、

写真 134

今度はその人たちが、他の誰かに手をさしのべることができるかもしれない！

写真 135

いや、きつとそうしようと思うだろう！

写真 136

そのような人に手をさしのべるとき、手をさしのべなければと思うとき！

写真 137

「プライバシーの侵害」や「個人情報の保護」といったこむずかしいことは飛ぶ！

写真 138

さしのべた手が、気持ちと力を伝え、

写真 139

その手から、気持ちと力を受け取る！

写真 140

サポーター4

協賛 33

協賛 34

サポーター5

全員

協賛 35

協賛 36

協賛 37

協賛 38

協賛 39

全員

これ以上に価値のあることはないから、

写真 141

こむずかしいことは飛ぶ！

写真 142

出過ぎたまねだったら、あやまればいい！

そして、また、

写真 143

手をさしのべる！

写真 144

手をさしのべるためには、相手に手が届く距離にいななければならない！

写真 145

手の届く距離にいる人しか、手をさしのべることはできない！

写真 146

手をさしのべることは「地域」でしかできない！

写真 147

みまぐにも関わる私たちの最終目標！

それは、

写真 148 → 写真 149

SOSの声を上げることのできない人たちに！私たちの手が届くまで！

北川さくらさん、手話ダンスチーム登場！

—みまぐもの歌—



写真 21.JPG



写真 22.JPG



写真 23.JPG



写真 24.JPG



写真 25.JPG



写真 26.JPG



写真 27.JPG



写真 28.JPG



写真 29.JPG



写真 30.JPG



写真 31.JPG



写真 32.JPG



写真 33.JPG



写真 34.JPG



写真 35.JPG



写真 36.JPG



写真 37.JPG



写真 38.jpg



写真 39.JPG



写真 40.JPG



写真 1.jpg



写真 2.JPG



写真 3.gif



写真 4.JPG



写真 5.JPG



写真 6.jpg

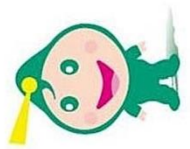


写真 7.jpg



写真 8.gif



写真 9.JPG



写真 10.jpg



写真 11.JPG



写真 12.jpg



写真 13.JPG



写真 14.JPG



写真 15.JPG



写真 16.JPG



写真 17.JPG

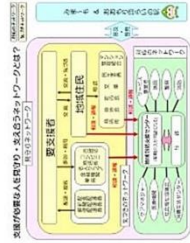


写真 18.jpg



写真 19.JPG



写真 20.JPG



写真 61.JPG



写真 62.jpg



写真 63.JPG



写真 64.JPG



写真 65.JPG



写真 66.JPG



写真 67.JPG



写真 68.JPG



写真 69.JPG



写真 70.JPG



写真 71.JPG



写真 72.jpg



写真 73.JPG



写真 74.JPG



写真 75.JPG



写真 76.JPG



写真 77.JPG



写真 78.jpg



写真 79.JPG



写真 80.jpg



写真 41.JPG



写真 42.JPG



写真 43.JPG



写真 44.JPG



写真 45.JPG



写真 46.JPG



写真 47.JPG



写真 48.JPG



写真 49.JPG



写真 50.JPG



写真 51.JPG



写真 52.JPG



写真 53.JPG



写真 54.JPG



写真 55.JPG



写真 56.JPG



写真 57.JPG



写真 58.JPG



写真 59.JPG



写真 60.JPG



写真 101.JPG



写真 102.jpg



写真 103.jpg



写真 104.jpg



写真 105.jpg



写真 106.jpg



写真 107.jpg



写真 108.jpg



写真 109.jpg

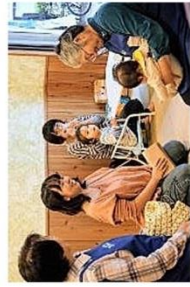


写真 110.jpg



写真 111.jpg



写真 112.JPG



写真 113.jpg



写真 114.jpg



写真 115.jpg



写真 116.jpg



写真 117.jpg



写真 118.jpg



写真 119.JPG



写真 120.jpg



写真 81.jpg



写真 82 .JPG



写真 83.jpg



写真 84.jpg



写真 85.jpeg



写真 86.JPG



写真 87.jpg



写真 88.JPG



写真 89.JPG



写真 90.jpg



写真 91.JPG



写真 92.JPG



写真 93.JPG



写真 94.JPG



写真 95.JPG



写真 96.jpg



写真 97.JPG



写真 98.JPG



写真 99.JPG



写真 100.JPG



写真 141.JPG



写真 142.jpg



写真 143.jpg



写真 144.jpg



写真 145.jpg



写真 146.JPG



写真 147.JPG



写真 148.JPG



写真 149.jpg



写真 121.jpg



写真 122.jpg



写真 123.jpg



写真 124.jpg



写真 125.jpg



写真 126.JPG



写真 127.JPG



写真 128.jpg



写真 129.jpg



写真 130.jpg



写真 131.JPG



写真 132.JPG



写真 133.JPG



写真 134.JPG



写真 135.JPG



写真 136.JPG



写真 137.JPG



写真 138.JPG



写真 139.JPG



写真 140.jpg

みまーもの歌

作詞・作曲 北川 桜

A B Ab

いま また で がん ぼっ て あ る
 あな また の つ くの た こと の
 いた しよ に いる と き を た い

B7 B B

いて き た の して るよ ぼ く たちと きよ う か
 じだい こ の せ かい あり が どう ぼ う くら
 せつに し た い よ あな た が わ くら う

Fm B7 B

ら は いっ しよ に あ る こ う
 ち は は しっ かく りは あ う け こ う
 と き ぼ く は う れ し い

B B B7 B7

み ま ~ も み ま ~ も み ま ~ も い ろ ん な た こ の と が
 み ま ~ も み ま ~ も み ま ~ も お お い こ こ こ ま ば ち に
 み ま ~ も み ま ~ も み ま ~ も あ い しよ こ こ た お ば ほう
 み ま ~ も み ま ~ も み ま ~ も あ い しよ こ こ た お ほう

B B

あ つ た よ ね る み ま ~ も み ま ~ も
 い み ま ま き ~ ~ ち も も み ま ~ も
 み ま ま ~ ~ ~ ち も も み ま ~ も
 み ま ま ~ ~ ~ ち も も み ま ~ も

B7 B7 B

み ま ~ も も い ろ い お し え て ね て
 み ま ~ も も む ね ろ を は ま ~ ち も
 み ま ~ も も いた しよ に く み ま ~ ち も
 み ま ~ も も いた しよ に く なっ て く も
 み ま ~ も も いた しよ に く なっ て く も